

知っている？ 沖縄県の危険なハチ

1 ハチについて

皆さんはハチと聞いてどのようなイメージを持っていますか。お尻に毒針を持っている怖い生物と思っている方が多いのではないのでしょうか。確かにほとんどのハチはお尻に針を持っていますが、本当に危険なハチはごく一部です。ハチは作物の受粉を助けたり、ハチミツを作ったりと、人にとって役に立つ仲間もいっぱいいます。

では、どのような種類のハチが危険なのでしょうか。

2 なぜハチは人を刺しにくるの？

国内で特に危険なハチは、スズメバチの仲間とアシナガバチの仲間です。その他には、ミツバチの仲間も人を刺しにくることがあります。では危険とされるハチの仲間はなぜ人を刺しにくるのでしょうか。実は巣を守るためなのです。そのため、ヒトが巣に近づいたり、巣をたたいたりすると攻撃してきます。これらのハチが花の周囲を飛んでいる時は、人を刺しにくることはほとんどありません。

3 刺されるとどうなるの？

ハチに刺されると毒が注入され、刺された場所が痛くなったり、はれたりします。これらの症状は多くの場合、数時間から数日で治ることが多いです。ただし、たくさんのハチに一斉に刺されると毒が多量に入るため命に関わる場合もあります。

また、ハチに何度も刺されると毒に対してアレルギーを持つことがあります。もしハチ毒に対してアレルギーを持ってしまった状態で刺されると、アナフィラキシーショックという命に関わる症状を起こしてしまう場合があります。全国ではハチに刺されて亡くなる人が毎年約10～20人報告されていますが、ほとんどがこのアナフィラキシーショックを起こした人です。そのため、過去にハチに刺されたことが

ある人は、次にハチに刺された場合には注意が必要です。沖縄県でもハチに刺されて亡くなった事例が過去に4例確認されています。

4 沖縄県で見られるハチの仲間

1) スズメバチの仲間

スズメバチの仲間は国内で最も危険とされるハチです。県内にはスズメバチの仲間が3種類います。コガタスズメバチは沖縄本島と石垣島、西表島に、ツマグロスズメバチは宮古諸島や八重山諸島の一部に、ヒメスズメバチは石垣島と西表島といったように、島によって生息している種類が異なっています。

コガタスズメバチは、体長が2～3cmで、体は黒い褐色、お尻に黄色い帯模様があります(写真1 A,B)。巣は球形で、木の枝や軒下、岸壁などにぶら下がっています(写真1 C)。沖縄県は台風の接近が多いことから、地上1～2mまでの低い場所に巣を作ることが多いようです。県内での活動時期は5月～12月で、冬は朽ち木の中で越冬しています。

ツマグロスズメバチは、お腹の上半分が黄色く、下半分が黒いという特徴があります。

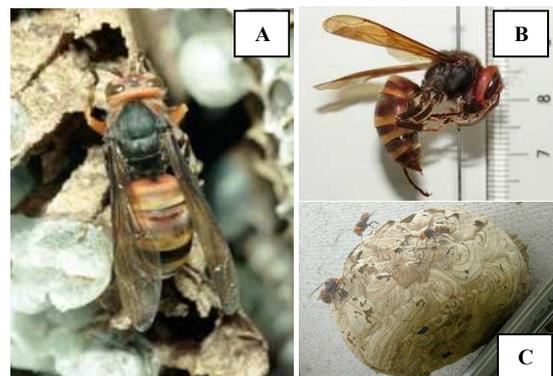


写真1 A: コガタスズメバチ
B: コガタスズメバチ側面
C: コガタスズメバチの巣

2) アシナガバチの仲間

県内でよく見られるアシナガバチの仲間は、セグロアシナガバチ(写真2 A)やキアシナガ

バチで、体長が2～2.5 cm、黒い褐色と黄色の模様があり、スズメバチより細めです。巣は和傘のような形が多く（写真2 B,C）、人家の軒や木の枝などにぶら下がっています。巣を作る高さは地表近くから5 m以上の高所までと幅広く、県内での主な活動時期は5～8月です。オキナワチビアシナガバチは体が1 cmと小さく、ススキやチガヤ、サトウキビなどの葉裏に巣を作ります。そのため、草刈やサトウキビの収穫の際に刺されることがあります。



写真2 A: セグロアシナガバチ
B: キアシナガバチの巣
C: ヤマトアシナガバチと巣

3) ミツバチの仲間

ミツバチの仲間（写真3 A）も巣を刺激すると人を刺しにくる場合がありますが、スズメバチやアシナガバチより攻撃性は低いです。ハチミツを取るために木製の巣箱で飼っているイメージがあると思いますが、野生では木の根元などに巣を作ります。また、スズメバチやアシナガバチは何度も刺すことができるのですが、ミツバチは刺した場所に毒針が残るため1回刺すと死んでしまいます（写真3 B）。症状はスズメバチやアシナガバチよりは軽いのですが、アナフィラキシーショックを起こすことがあります。

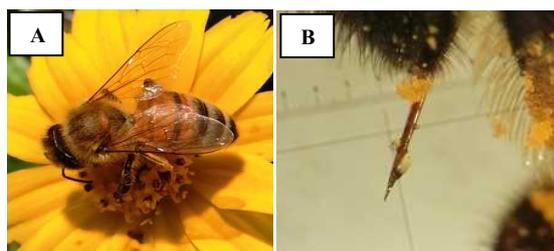


写真3 A: セイヨウミツバチ
B: セイヨウミツバチの毒針

4) その他のハチの仲間

その他に県内でよく見られるハチとして、クマバチの仲間（写真4 A）やアナバチの仲間（写真4 B）、ハナバチの仲間、ツチバチの仲間がいます。

当研究所に問合せが多いのは、ツチバチの仲間やアナバチの仲間です。これらの仲間は、地面に穴をあけて巣を作ったり、昆虫の幼虫に卵を産み付けたりするために地上付近をよく飛んでいます。これらのハチの一部は見た目がアシナガバチに似ていることや、大きくて怖そうであるため心配になる方が多いようです。

これらの仲間は、つかんだりしない限りほとんど刺されることはありません。

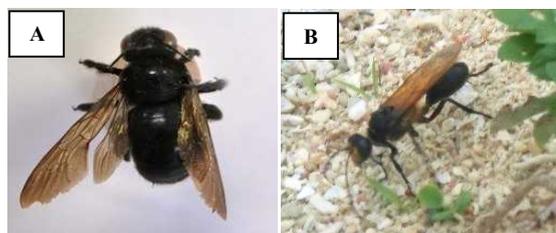


写真4 A: オキナワクマバチ
B: キンモウアナバチ

5) 刺されないためにはどうするの？

これらのハチに刺されないためにはどうすればいいのでしょうか。県内でアシナガバチやスズメバチの活動が活発な時期は巣を作る5～12月になります。この時期は巣を見つけても近づかないようにしてください。もし家の近くや人が多く通る所に巣がある場合は、専門の業者に駆除をしてもらいましょう。市町村によっては、駆除してくれる所もありますのでお住いの市町村に確認してみてください。

服装の注意点として、ハチは黒い色を刺しにくる性質があるため、登山などに行く際は黒い色は避けた方がよいです。また、スズメバチなどは香水やジュースなどの匂いに寄ってくるがあるので注意してください。

ハチは身近にいる危険生物としてよく知られていますが、実は危険な種類はごく少数です。危険なハチの仲間とその生態を知ること、ハチに刺される被害の多くを防ぐことができます。

【衛生生物班 生物生態 G】